三笠市 企業版ふるさと納税

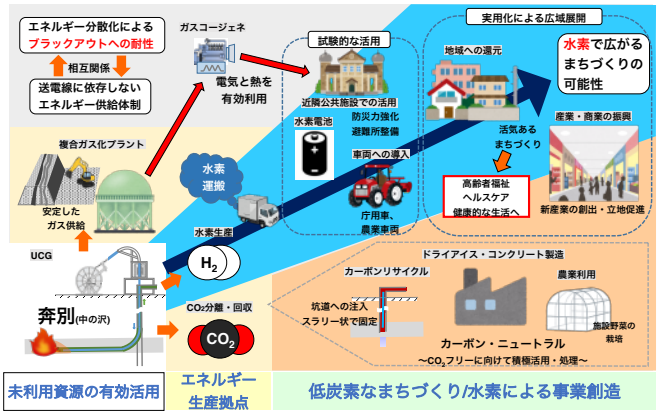
～主な活用事業～

〈2021年11月現在〉

1 CO_2 フリー水素による地方創生を推進します！
～未利用エネルギー活用事業～

新たなエネルギー利用の方法として、地下に眠る石炭層を燃焼し、抽出したガスや水素を利用するための研究を行い、実用化に向けた取り組みを推進します。

また、ガスや水素の製造過程で排出されるCO_2を農業などで利用したり、旧炭鉱の採掘跡に貯留・固定するカーボンリサイクル事業を推進し、低炭素なまちづくりや水素による新たな産業の創出を図ります。



〈SDGs〉関連するゴール

2 食の未来を切り拓く、人材の育成を推進します！
～高校生「食」のコンクール実施事業～

日本の食文化や食産業を守るためには“食の素晴らしさ”や“食の可能性”を伝える人材を育成することが未来に繋がると考えます。

三笠市では、2018年7月に「三笠高校生レストラン」をオープンさせ、施設内に設置した「キッチンスタジアム」において高校生が斬新な発想や技術を競う「スイーツコンクール」や「料理コンクール」を開催し、若者の交流を通じて互いを高め合い未来の食産業を担う人材の育成に貢献します。

〈SDGs〉関連するゴール

3 教育と観光によるまちづくりを推進します！
～三笠ジオパーク推進事業～

三笠市では、アンモナイトが海を泳いでいた1億年前から、石炭の発見以後炭鉱マチとして栄えた現代、そしてジオパークや高校生レストランなどを楽しむことができる現在までの「1億年時間旅行」を、アクティビティ・ガイドツアー・教育旅行・研修などを通じて体験することができます。

道内初の近代炭鉱及び鉄道（全国3番目）、そして、開拓や炭鉱の労働力確保のための空知集治監（現在の刑務所）、地域発展の歴史やそこから生まれた伝統や文化など、北海道開拓の重要な要素や物語を有しています。

これら地域ならではの歴史・風土・文化・資源等の保護保全及び活用を行い、「見て・学んで・楽しんで・体験できる」様々なメニューを展開し、さらなる地域おこし・経済振興・人材育成などを図っていきます。

ひとまたぎ５千万年
（ひとまたぎ覆道）

〈SDGs〉関連するゴール

上記のように「三笠市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けられた地方創生に資する事業が、企業版ふるさと納税の対象事業となります。そのほかの主な位置付け事業を一部ご紹介します。

～主な位置付け事業～

- ○ 北海盆おどり実施事業
- ○ 博物館特別展示事業
- ○ 三笠鉄道村整備事業（SL整備）
- ○ 桂沢国設スキー場整備事業
- ○ ファミリーランドみかさ遊園整備事業
- ○ 三笠版DMO推進事業
- ○ 観光交流促進事業
- ○ 農業基盤整備事業
- ○ ワインを活用したイベント開催事業
- ○ 子どもの医療費助成事業
- ○ 乳幼児紙おむつ購入費用助成事業
- ○ 保育所使用料・副食費助成事業
- ○ 小学校給食費助成事業
- ○ 親子英語教室実施事業
- ○ 学力向上未来塾推進事業
- ○ スポーツ環境充実事業（プロ指導者招致）
- ○ いきいきライフ健康づくり事業